

(令和元年6月作成)

事務事業評価シート

(R1)No.

6077

(H30)No.

6077

事務事業名	農業委員会費		
担当部局名	担当室名	室長名	
農業委員会事務局	農業委員会事務局	杉本 一徳	

会計区分	事業コード	290501
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 農林水産業費	農業委員会費	
項 農業費	(小事業名)	
目 農業委員会費	農業委員会費	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	3	活力に満ちて暮らせるまち
	基本施策	1	地域産業の振興
	施 策	1	農林資源
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
農地政策の適正運用を図るため、農業委員会の担うべき役割を果たす。
事業内容
○農業委員会法の改正により、農地転用許可や利用権設定等の法定事務に加え、農業委員会の重要な業務として法定された「農地等の利用の最適化の推進」業務を行う。 ①担い手への農地の集積・集約化 ②耕作放棄地の発生防止、解消 ③担い手の育成、新規参入の促進

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H30年度(事業量・取組実績)	R1年度(事業量・取組計画)																							
主な事業の実績・計画	・法令業務、農地利用最適化推進業務の実施 ・農業委員と推進委員の連携を念頭に「農地等の利用の最適化の推進に関する指針」の策定について推進委員を中心に検討をした。 ◇決算内訳 <table><tr><td>委員報酬</td><td>6,325千円</td></tr><tr><td>旅費</td><td>354千円</td></tr><tr><td>消耗品費</td><td>41千円</td></tr><tr><td>県農委負担金</td><td>447千円</td></tr><tr><td>印刷製本費</td><td>1千円</td></tr></table>	委員報酬	6,325千円	旅費	354千円	消耗品費	41千円	県農委負担金	447千円	印刷製本費	1千円	・法令業務、農地利用最適化推進業務の実施 ・農業委員、推進委員改選に係る準備。 ◇予算8,856千円 内訳 <table><tr><td>委員報酬</td><td>7,952千円</td></tr><tr><td>旅費</td><td>381千円</td></tr><tr><td>消耗品費</td><td>68千円</td></tr><tr><td>印刷製本費</td><td>3千円</td></tr><tr><td>県農委負担金</td><td>452千円</td></tr></table>	委員報酬	7,952千円	旅費	381千円	消耗品費	68千円	印刷製本費	3千円	県農委負担金	452千円	○農業委員会法の改正により、農地転用許可や利用権設定等の法定事務に加え、農業委員会の重要な業務として法定された「農地等の利用の最適化の推進」業務を行う。 ①担い手への農地の集積・集約化 ②耕作放棄地の発生防止、解消 ③担い手の育成、新規参入の促進		
		委員報酬	6,325千円																						
		旅費	354千円																						
消耗品費	41千円																								
県農委負担金	447千円																								
印刷製本費	1千円																								
委員報酬	7,952千円																								
旅費	381千円																								
消耗品費	68千円																								
印刷製本費	3千円																								
県農委負担金	452千円																								
			R2年度(事業計画)	R3年度(事業計画)	R4年度(事業計画)																				
			・法令業務、農地利用最適化推進業務の実施 ・農業委員、推進委員の改選	・法令業務、農地利用最適化推進業務の実施	・法令業務、農地利用最適化推進業務の実施																				

	H30年度(決算見込)		R1年度(作成時予算額)		R2年度(計画予算)	R3年度(計画予算)	R4年度(計画予算)
	H29繰越分	H30現年分	H30繰越分	R1現年分			
①直接事業費		7,168千円		8,856千円	8,000千円	8,000千円	8,000千円
内訳(千円)							
国・県支出金		2,158		2,277	1,200	1,200	1,200
地方債							
その他(手数料、諸収入)		225		155	200	200	200
一般財源	0	4,785	0	6,424	6,600	6,600	6,600
人工数							
職員		0.80人		0.60人	0.60人	0.60人	0.60人
臨時職員等							
②概算人件費	0千円	6,000千円	0千円	4,500千円	4,500千円	4,500千円	4,500千円
①+②総事業費	0千円	13,168千円	0千円	13,356千円	12,500千円	12,500千円	12,500千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H30年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
・推進委員の活動を見直した事によりH30年度の委員報酬(日額)総額は6,325千円(29年度は6,658千円)で、前年度比約33.3万円減少した。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(拡大)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画
耕作者の高齢化、後継者不足等により耕作者不在となる農地がここ数年で急激に増加するため、「農地利用の最適化の推進」の活動が増加し委員報酬総額が増加する可能性がある。	第3次名張市農業マスタープラン